

登録コード	HM125200	開講年度	2026				
授業題目	遺伝医学特論				担当教員	古庄 知己 他	
英文授業名	Medical Genetics				副担当	高野 亨子・吉沢 隆浩・中村 勝哉・山口 智美	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				遺伝医学の基礎的事項、臨床的事項を説明できる。		
(2)詳細/Detailed information	遺伝医学の基礎的事項、臨床的事項を深く学ぶことを目的とする。遺伝医学の専門家を目指す博士課程大学院生にとってメインの科目である。						
(3)授業の概要/Overview of course	遺伝医学の基礎的事項、臨床的事項を包括的かつ詳細に学ぶ。講義、discussionを基盤に双方向的な授業を目指す。						
(4)授業計画/Course plan	1．基礎遺伝学（第1回～第18回） 2．臨床遺伝学（第19回～第25回） 3．遺伝カウンセリング学（第26回～第40回）						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	discussion、レポート等を通じて理解度を確認する。評価法は以下の通りである。 (i) 問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep work/Textbook(s)/Reference work(s)	『トンプソン&トンプソン遺伝医学・ゲノム医学 日本語訳 第3版（福嶋義光監修、櫻井晃洋監訳）』 『遺伝カウンセリングのためのコミュニケーション論（小杉真二編著）』 の内容を深く理解し、運用できるようにする。 『遺伝カウンセリングマニュアル 改訂第3版（福嶋義光監修）』 『Management of Genetic Syndrome 3rd edition』 『GeneReviews (https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK1116/)』 『染色体異常をみつけたら (http://www.cytogen.jp/index/index.html) 』 など著書やwebsiteを活用しながら参加する。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	メール（ ktomoki@shinshu-u.ac.jp ）またはメールで時間予約をして面談を行う。						
(8)授業の形式/Course format	講義、discussion、文献検索等により構成される。						